

第17回 環境振動評価小委員会 議事録（案）

A. 日 時 2013年3月21日 火曜日 17:30～19:30

B. 場 所 建築会館 会議室

C. 出席者 益田主査、他8名

D. 提出資料（提出委員名敬称略）

No. 17-1 第16回環境振動評価小委員会議事録（案）

No. 17-2 説明性 WT/活動内容まとめ

No. 17-3 広域実測 SWT

No. 17-4 データベース WT/活動内容のまとめ

No. 17-5 評価 WT 要望と提案

E. 議事内容

1. 議事録確認（資料17-1）

◇ 承認された

2. 議論

1) 次期主査の選任について

◇ これまでの本小委員会の活動方針

→ 環境振動の範囲拡大を目指した種蒔き委員会と位置づけることができる

◇ 次期小委員会運営時の留意点

→ 指針改訂委員会との独立性を維持する

→ 主査の作成した大きな流れを踏襲して活動を行う

→ 次年度以降はこれまでの成果をカタチにする時期と心得る

◇ 次期主査

→ 次期主査の選出

→ 幹事は現幹事継続

◇ 今後の活動計画（暫定版）

→ 指針改定時には評価と設計を完全に独立させて検討

→ 時間に関する重み付け（時間領域）の検討も加味

→ これまでの環境振動評価・指針のケアにも留意

→ 評価指針WGと本小委員会の位置付けを確認

→ 主査の負担を極力減らすように仕事の割り振りを検討

2) 資料No. 17-2 説明性 WT/活動内容まとめについて担当委員より報告

◇ 活動内容

→ イラスト等を用いた見える化のありかたを検討、知覚割合の説明性、長周期地震動等も対象に居住性能のみならず安全性まで範囲拡大を検討

◇ 今後

→ 表現方法の集約、潜在的な問題の抽出、見える化のリスク、時間の要素を含めた評価を検討

3) 資料No. 17-3 広域実測 SWT について担当委員より報告

◇ 活動内容

→ ネットワークセンサー技術の調査、可視化技術の調査、広域評価モニタリング WG へ参加

◇ 今後

→ ワイヤレスセンサーに関しては途上であり今後も情報の集積に努める、振動を専門にしない一般の方にも理解しやすい情報の提供方法の検討

4) 資料 No. 17-4 データベース WT/活動内容のまとめについて担当委員より報告

◇ 活動内容

→ 交通振動に関わる論文を収集、データ収集時の留意点を集積、加振源データの標準化を目指した

◇ 今後

→ 加振源ごとの標準化への作業の難易度が非常に高い、今後とも情報の集積に努め改訂予定の各指針への一助となることを目指す

5) 資料 No. 17-5 評価 WT について担当委員より報告

◇ 活動内容

→ 評価関連資料の収集、実験条件・対象振動等の整理

◇ 今後

→ 評価指針の検討

3. 次回以降の課題

◇ 来年度以降の委員会活動

→ 次期主査に所信表明をお願いする

◇ 委員会活動計画

→ 設計指針と評価指針の位置づけ/時間重み付けの手法など

4. 次回開催予定

◇ 2013年5月10日17時30分より 建築学会会議室にて